

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	健康推進課長 村下 伯	電話番号	0852-22-5248
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	健康長寿しまね推進事業		
目的	(1) 対象	県民	
	(2) 意図	県民自らが健康づくりに取り組みやすい環境を整備する	
事業概要	「第2次健康長寿しまね推進計画（健康増進計画）」にもとづき、健康寿命の延伸を目指し、県民、関係機関・団体、行政が一体となった啓発等、県民運動を推進する (1) 住民主体の地区ごとの健康づくり活動の促進・・・健康長寿しまね活動推進交流会、健康長寿しまね活動推進研修、健康づくりグループ表彰 等 (2) 生涯を通じた健康づくりの推進・・・健康な食プロジェクト、からだを動かそうプロジェクト 等 (3) 多様な実施主体による連携のとれた取組の推進（ソーシャルキャピタルの醸成）・・・健康長寿しまね推進会議の開催 等 (4) その他・・・健康長寿しまね広報事業、健康長寿しまねの評価		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	健康長寿しまねの県民運動参加者数（延べ人数）	目標値	121,000.0	127,000.0	133,000.0	140,000.0	人
	式・定義	全県・各圏域推進会議の行う健康づくりの県民運動の参加者数	取組目標値					
			実績値	115,912.0				
			達成率	-	-	-	-	%
2	指標名		目標値					
	式・定義		取組目標値					
			実績値					
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	11,516	8,682
うち一般財源 (千円)	11,516	7,902

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

平均寿命、平均自立期間をはじめ、健康指標に男女格差が認められる。
 （平成22年度）平均寿命男性79.51歳、女性87.07歳 65歳平均自立期間 男性17.18年、女性20.84年

県民運動として、健康長寿しまね推進会議構成団体を中心に、関係機関・団体と連携をとりながら活動が広がり、定着してきており幅広い年齢層へ波及してきている。

県民の健康に対する意識の向上や、各種健康指標（喫煙率の減少、がん検診受診率向上、歯科保健指標等）の改善に成果が認められる。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

○圏域を中心とした県民運動参加者数は、市町村や関係団体との、連携・協働が進んでいることにより大幅に増加してきている

○保険者をはじめ、職場でのソーシャルキャピタルの醸成にむけて、関係団体、企業との連携が進んだ

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」
 20～30歳代の若い世代の食習慣の乱れ、壮年期男性を中心とした運動不足、糖尿病・肥満・脳卒中の発症、要介護者の増加など課題がある

②困っている状況が発生している「原因」
 若い世代の健康への関心、意識が低い
 健康な食、運動などの健康づくりに関する知識や情報を入手する機会が少ない

③原因を解消するための「課題」
 「身近な、多様な場面で、ふとした時に気づきを得られる健康なまちづくり」の推進
 ○関係団体・機関、企業などとの連携強化
 ○地域の課題や実情に応じた取組展開

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

○健康づくりの啓発母体である健康長寿しまね推進会議と各事業との連動した取組推進

- 住民主体の地区ごとの健康づくり活動の促進
 従来からの地域を主体とした取組に加え、職域をターゲットとし、若い世代の健康づくりへの意識を高めるための関係団体との連携強化
- 生涯を通じた健康づくりの推進
 身近で多様な場面を活用した地域課題別メニュー事業の導入
- 各健康指標の圏域や男女格差の縮小のための、効果的な施策提案をめざした背景探索と恒常的な実態把握体制の構築
 保健環境科学研究所、島根大学医学部との協働による調査研究（平成28～30年度事業）
 圏域格差や男女格差の縮小をめざし、圏域ごとの実態に応じた取組の推進

・課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）